

弓道部「頂点を目指して」

跳んでみなければ、その壁の高さはわからない。
突き当たってみなければ、その壁の固さはわからない。
壁を行くときの哀しみ、ぶつかったときの痛みを知る者こそが、明日の自分を築くことができる。



06年度、貝塚市なみはやドームで開催された大阪インターハイでは、女子団体が全国四位入賞し、本校の団体としては過去最高の成績を残すことができました。とはいえ戦い終えた選手、そして応援していた部員に、その結果自体への満ち足りた思いはありませんでした。ひたすら、頂点を目指すこと、その中で、たとえ県予選で負けようが、全国大会で敗れようが、敗者には違いない。トーナメントで真の勝者たることを証立てるのは、最後まで勝つことにはしかないと知っていたからです。そのために「頂点を目指すような練習に取り組んできた」かが、真価の間われるところと考えてきました。



点は決して手の届かないところにあるのではないと、改めて感じました。弓道場を築立っていった数々の先輩たちの熱い思いは、確かなものとして着実に後輩たちに受け継がれています。まだまだ未熟なところの多い部ですが、今後とも毎



日の稽古に励んでいきたいと思いを新たにしています。みなさまのご声援よろしくお願ひします。

なお、念願の「巻きわら練習場」が、創立三十周年記念事業の一環として昨年完成しました。雪の降りしきる中、冷たい手をこすりながら練習をしていた日々を懐かしく思います。建設のため、ご尽力くださった多くの方々に感謝を申し上げます。

2006年 大阪インターハイの結果 予選 20射17中 1位通過
決勝トーナメント 1回戦 本校 14中対13中 伊奈学園総合(埼玉)
2回戦 本校 12中対 8中 松山北(愛媛)
準々決勝 本校 14中対12中 若狭東(福井)
準決勝 本校 10中対10中 下諏訪向陽(長野)
同中競射 2中対3中 女子団体第4位

(顧問:高橋 一代志)

クラブ紹介

テニス部男子「虎視眈々」と
全国選抜、インターハイ、国体の三冠達成!

(顧問:堀池 保宏<4期生>)

母校に赴任させていただき、今までお世話になったソフトテニス部顧問からテニス部顧問として7年間の過ぎました。テニス部は、前顧問の中村善郎先生が平成10年度に創部され、翌年には、岩手インターハイに出場を果たされました。「虎視眈々」と全国を目指し、全国で勝つことを目標にテニス部顧問を引き継ぎました。全員がテニス初心者で、全員が試行錯誤を繰り返しながら、厳しい練習を行いました。県内で上位には進出するも

のなかなか優勝することが出来ませんでした。そんな中で今年卒業した31期生が入学し、ジュニアテニス経験者の田中翔大君や初代インターハイ選手の白根佑樹君の弟の陽介君ら21名もの新入部員が入りました。また、翌年の32期生(現3年生)には、同じく経験者の南翔太君と東亮太朗君が入り、さらに戦力が整いました。このチームなら全国を狙えと確信し、他府県の強豪校と数多くの練習試合を行い、経験を積ませました。そして

平成18年度の秋季大会で準優勝し、4度目となる春の全国選抜をかけた近畿大会に出場し、奈良代表の登美ヶ丘高校、京都代表の京都国際高校、和歌山代表の初芝橋本高校をすべて3-2の激戦で下し、出場を決めました。普通の公立高校が近畿大会に出場し、勝利したことは、まさに快挙と言えます。その選抜大会では、全国3位の強豪浦和学院と初戦で戦い、「力戦粘闘」の末、破れましたが次のインターハイに向けて大きな自信となりました。平成19年度の春季大会決勝でついに光泉高校を2-1で退け、8年ぶり2度目となるインターハイ団体出場を決めました。個人戦でも田中・白根組が本校初となるダブルス優勝を果たし、田中選手は国体選考会でも優勝し、滋賀県代表として秋田国体で戦いました。私自身、監督としてすべての大会に参加し、本当に貴重な経験をさせていただきました。

今年度の春季総体は、残念ながら決勝で敗れ、2年連続のインターハイは実現しませんでした。が、有望な1年生も入部し、全国を目指し、一生懸命練習に取り組んでいます。OBの皆様、近くにお寄りの際はぜひ懐かしいコートへお越し下さい。